

# 研究テーマ

平成29年度 文部科学省  
「特別支援教育に関する実践研究(次期学習指導要領に関する研究)」

## 「次期学習指導要領を見据えたカリキュラム・マネジメント」 ～熊大式マネジメントシステムの構築～

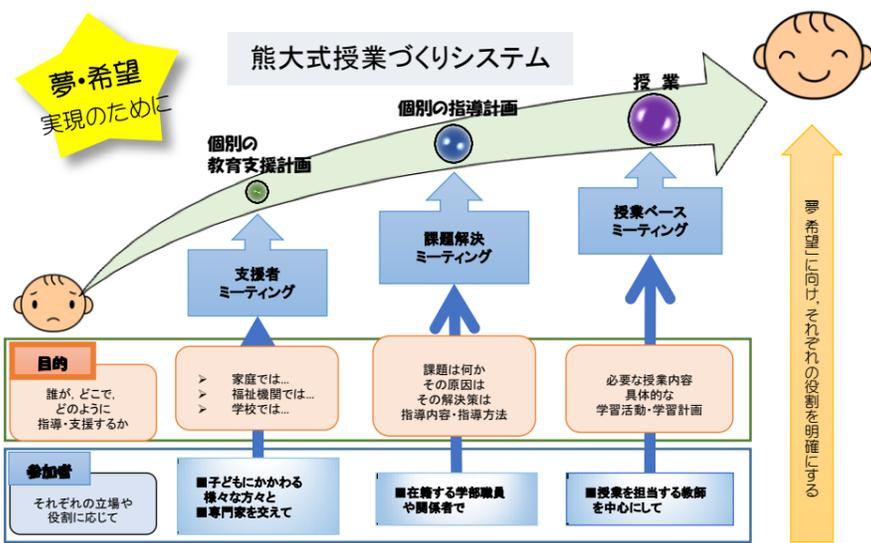
# 研究内容

### 次期学習指導要領を見据えて

#### 熊大式マネジメントシステムの構築を目指した3つの取組

- 取組1 カリキュラムの充実(マネジメント体制の構築)
- 取組2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善・開発
- 取組3 地域社会との連携・協働

## 取組1 カリキュラムの充実(熊大式マネジメントシステムの構築)



※「熊大式授業づくりシステム」とは  
子どもたちの夢や希望の実現のために、本人・保護者・学校・福祉・医療等の関係者が一堂に会して行う「個別の教育支援計画」作成や役割を明確にする『支援者ミーティング』、学部教員で行う「個別の指導計画」作成のための『課題解決ミーティング』、学部・授業担当者等で行う『授業ベースミーティング』の3つの段階的なミーティングシステムのこと  
「システム」とは、3つの核となるミーティングにより作成された個別の教育支援計画、個別の指導計画、日々の授業がPDCAサイクルでつながることを意味する

### 話し合いを活性化させるシートの活用と評価時間の設定

#### LMSシートの書式変更と役割の明確化



これまで熊大式授業づくりにおいて使用していたL(long)シート【長期計画・評価】、M(middle)シート【単元等中期計画・評価(単元等)】、S(short)シート【授業計画・評価】の書式を見直し、指導内容や教科との関連が明確になるようにするとともに、評価の観点、内容の整理を行うことで、課題が明らかになるようにした  
※各様式は当日配付資料(学習指導案・資料集)に掲載

### 日々の授業を振り返り、改善を図るため 評価の時間(S授業研)を設定

#### 個別の指導計画及び通知表の様式の変更



※様式詳細は  
当日配付資料  
(学習指導案・  
資料集)に掲載

これまで指導形態毎に、個別の目標設定及び評価を行ってきたが、学びを確かにつなぐためには現行の様式では不十分であると考え、各教科毎に計画及び評価する様式で検討を進めている  
学年間、学部間における指導の連続性を支えるツールとして、また、学びの履歴として、本校で研究・実証後、他の特別支援学校や小・中学校の特別支援学級において活用される様式を目指し、改善を図っていく

※内容詳細は教務部ポスター参照

1年次

- ◆熊大式マネジメントシステムの構築
- ◆指導の評価による日々の授業改善
- ◆福祉・労働との連携強化

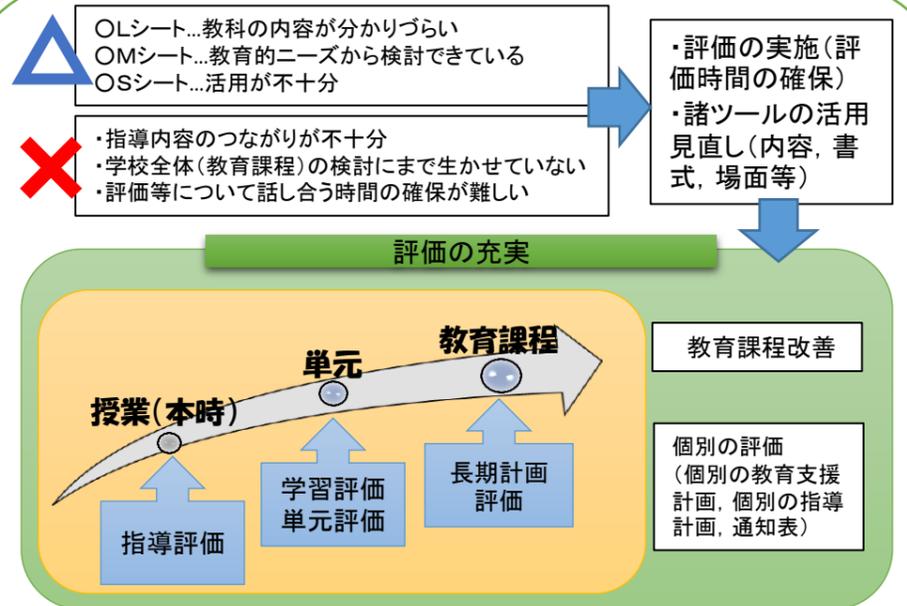
2年次

- ◆熊大式マネジメントシステムの構築
- ◆評価システム確立と評価に基づいた授業改善・開発
- ◆地域資源を活用した授業の充実

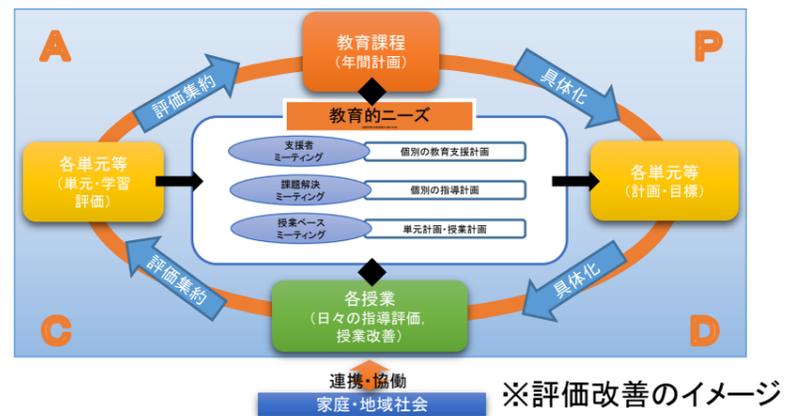
3年次

- ◆熊大式マネジメントシステムによる評価・改善の実践検証
- ◆卒業後を見据えた学びをつなぐ教育課程の編成

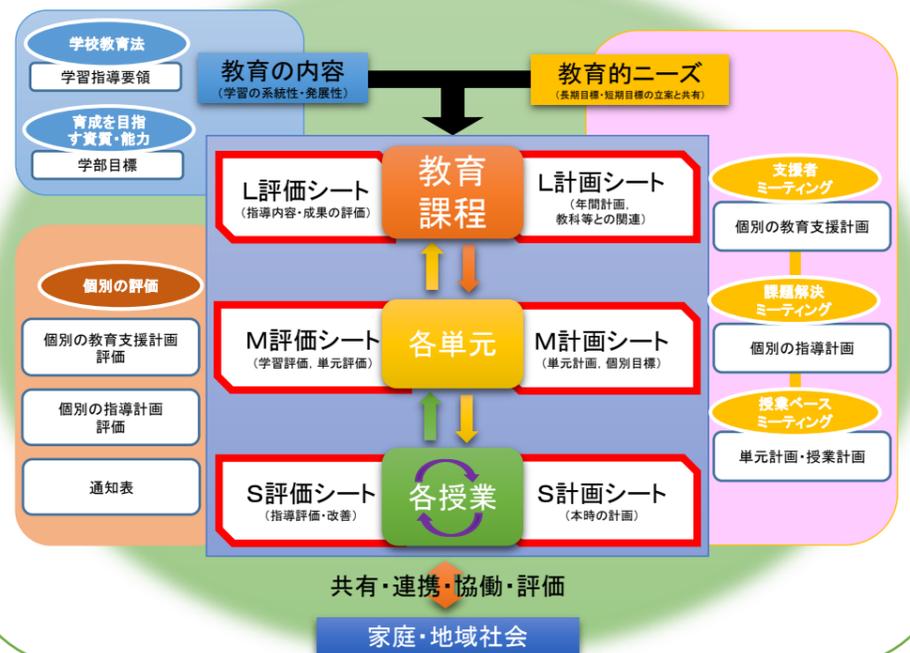
### 評価の体制づくり



### 熊大式授業づくりシステムを基に教育的ニーズ を中心に据えたカリキュラム・マネジメント体制へ

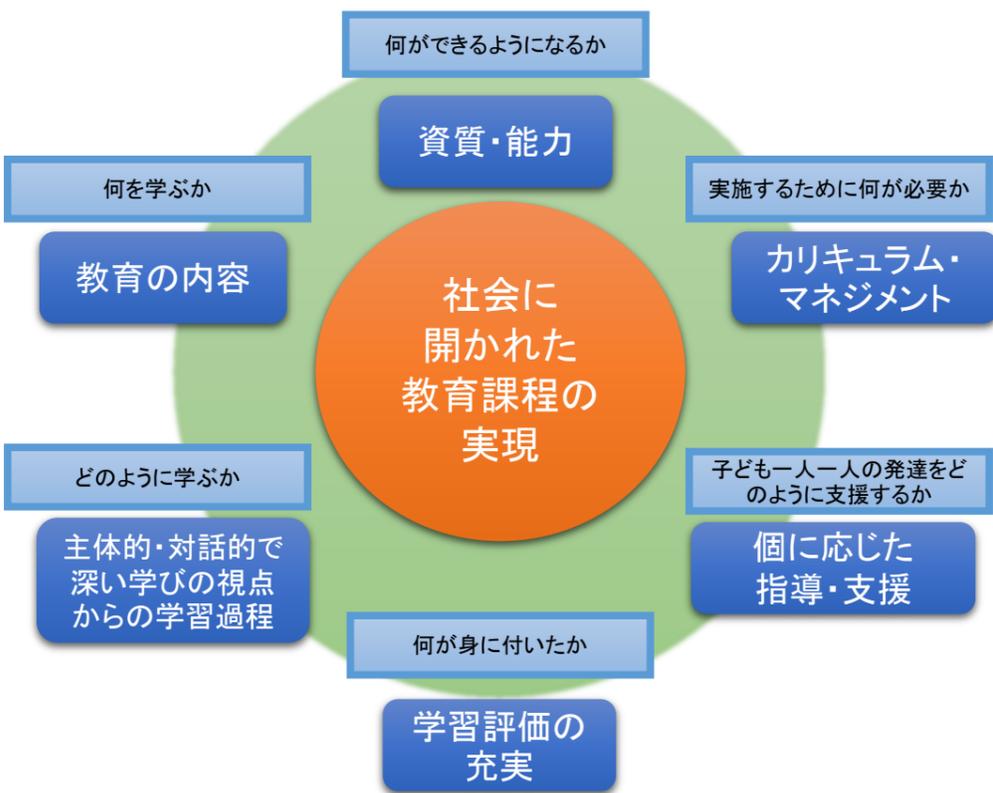


### 評価の内容や方法等を明確化・構造化し、 「熊大式マネジメントシステム」として構築を目指す



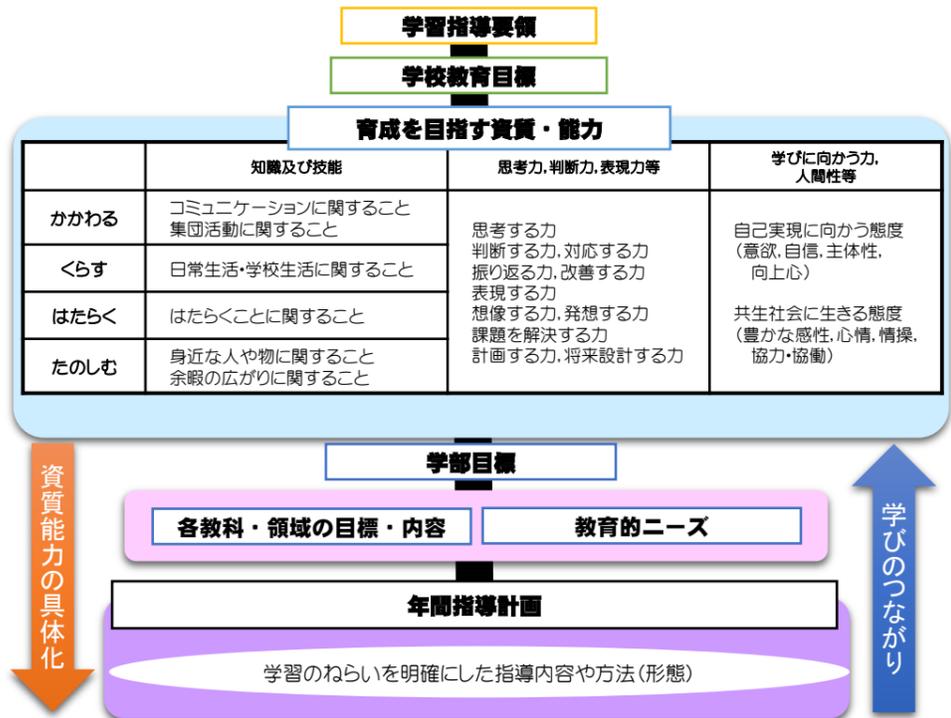
## 取組 2 授業改善・開発 (指導の評価による日々の授業改善)

- 次期学習指導要領で示された観点  
(目次で整理された内容)

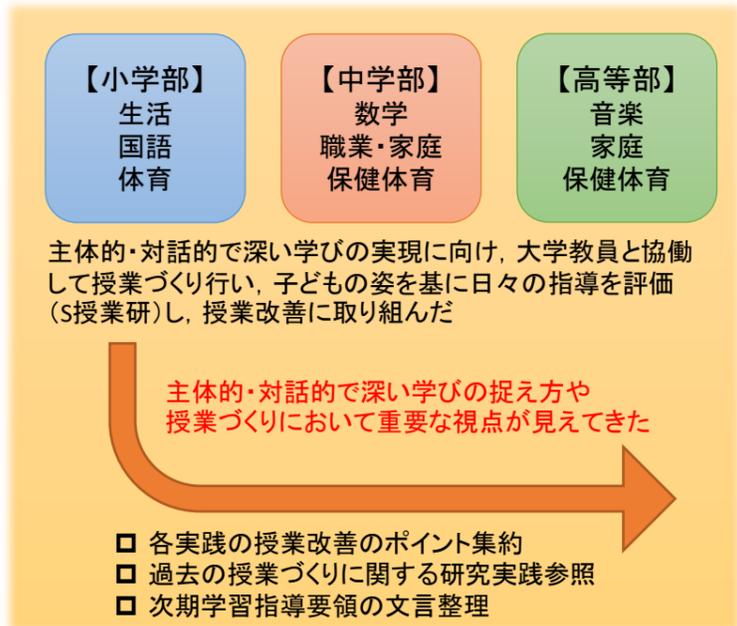


- 「育成を目指す資質・能力」と目標等との関連の捉え直し

昨年度は各授業に細かく記述していたが、資質・能力の育成に関して年間のまとまりや学校生活のまとまりの中でとらえた方がよいという共通理解から



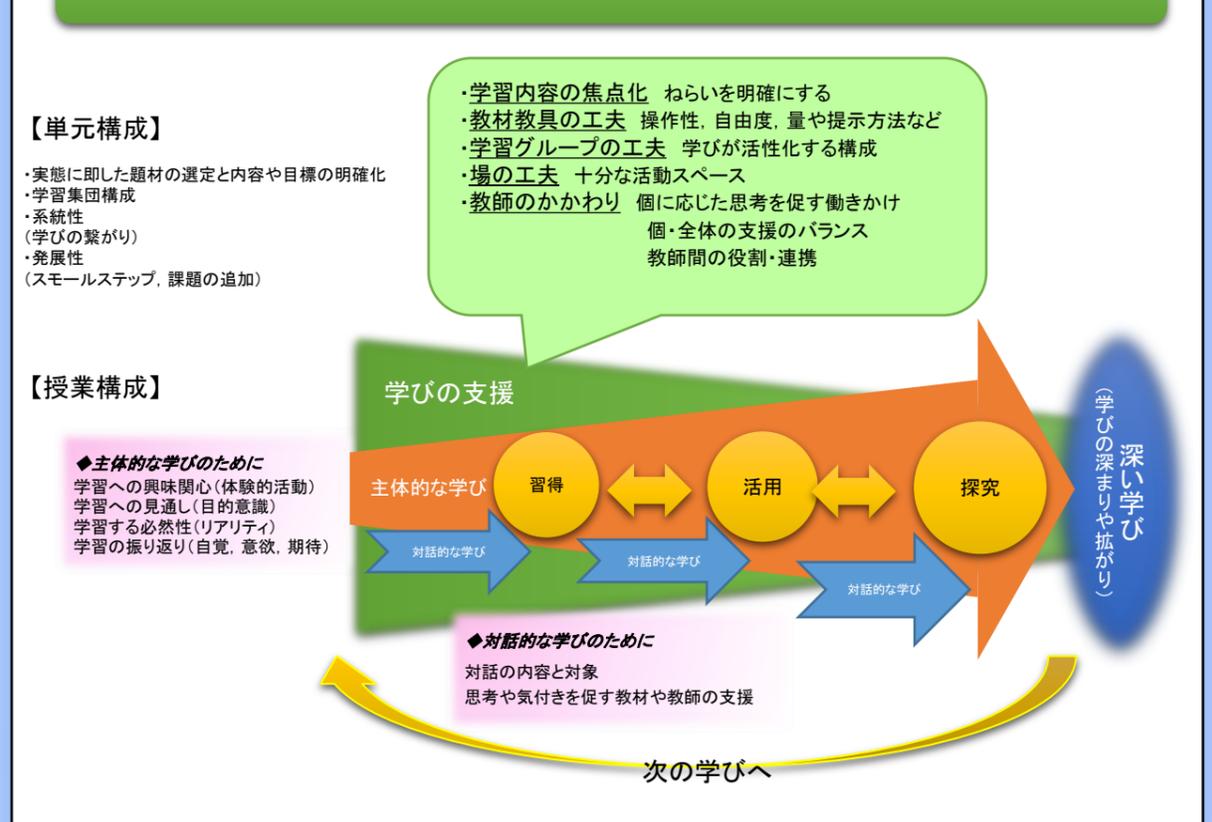
- 次期学習指導要領を見据えた各学部の研究実践(大学との共同研究)



### 主体的・対話的で深い学びとは...

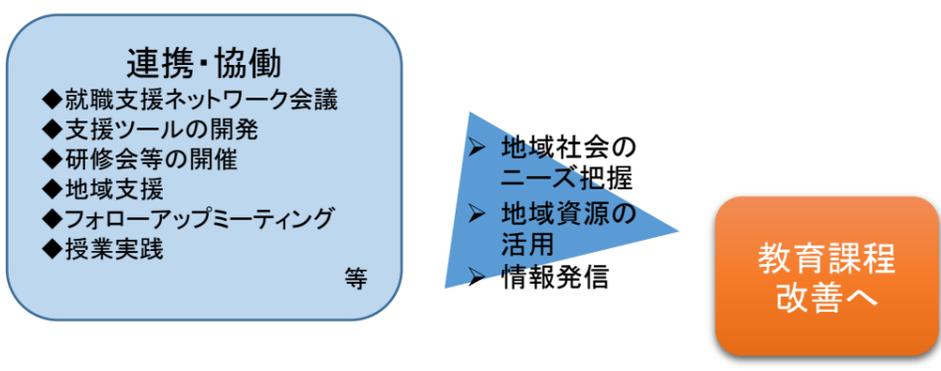
- 主体的な学び  
学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか
- 対話的な学び  
子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか
- 深い学び  
習得・活用・探求という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか

## 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたイメージ図



主体的な学び、対話的な学び、深い学びは、それぞれ独立したものではなく、授業や単元等のまとまりの中で相互に関連付きながら深まっていくもの

## 取組 3 地域社会(福祉・労働等)との連携・協働



※内容詳細は地域支援部ポスター参照

## 次年度以降

